

1 指導観

- 新2年生は、これまでの1年間を通して、中学校での生活にも慣れ、一定の人間関係を作ってきた。そして、進級し中堅学年として3年生を支え、後輩の良き手本と成り、伝統を受け継いで行こうとする気持ちを持っている。一方でクラス替えにより、新しい友達ができるか不安を持っている。
- そこで本時では、クラスメイトに質問しながら情報を集め、担任からのメッセージを完成させる活動を通して、たくさんの人と関わり、お互いに認め合い、新しい学級で頑張っていこうという気持ちをもたせることをねらいとする。そこで、まず、生徒一人一人の呼名、担任・副任の自己紹介を行う。ここでは、このクラスでの出会いを楽しみにしていたこと、新しいクラスになったばかりで緊張している生徒の緊張感をほぐすために、明るく和やかに呼名をしたり自己紹介をしたりする。次に、クラスメイトに質問しながら情報を集める活動を行う。ここでは、たくさんの人と話し「このクラスでがんばれそうだ」という安心感をもたせるために、ジャンケンをする、質問する、質問に答える、終わったらハイタッチをするというルールを設定する。その際、話しかける相手が知っている人だけにならないように、違うクラスだった人や異性とも会話することを確認する。さらに、班になって質問ゲームで集めた言葉を並べ替えて、担任からのメッセージを完成させる。ここでは、全員が大切な存在としてこのクラスにいるのだということを実感させるために、一人でも欠けたらメッセージが完成しなかったことを伝える。最後に、作り上げたメッセージをもとに担任の願いを聞き、振り返りを行わせる。ここでは、新しい仲間と共に前向きに頑張りたいという気持ちを大切にするために、そのような記述のある生徒を意図的に指名し、何人かに振り返りを発表させる。

2 主眼

- クラスメイトから情報を集め、メッセージを完成させる活動を通して、たくさんの人と関わり、お互いに認め合い、新しい学級で頑張っていこうという気持ちを持つことができる。

3 主眼達成のための指導上の工夫

- 本時の主眼を達成するための工夫点は2つある。1つ目は、他者理解を促す質問タイムを行うことである。答えが2択の質問をすることで、新しいクラスでまだ慣れていない人とも簡単にコミュニケーションをとることができるようにする。また、質問の答えを聞くなかで自分との共通点をもった人も見つかり、親近感を抱くこともできると考える。2つ目は、担任からのメッセージを全員で作る活動を仕組んだことである。全員の文字がそろってメッセージが出来上がる体験を通して、クラスの連帯感を持たせたい。

4 展開

学習活動・内容	指導上の留意点	配時
1 挨拶をし、点呼に対して返事をする。	○みんなに出会うことを楽しみにしていたということを感じさせるために、明るく元気に呼名する。	5
2 担任・副任の自己紹介を聞く。	○緊張感を和らげるために、穏やかに語りかける。	5
3 「名探偵○○」ゲームをする。 (1)クラスメイトの情報を集めてくる。(質問タイム)	○クラスメイトのことを知るために、また、クラスで連帯感を感じさせるために、ゲームを行わせる。	20
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[ルール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15個の質問に①か②で答える。 ①ペアをつくり、握手をしてジャンケンをする。 ②勝ったほうが先に質問をする。使っていない質問から選ぶ。 ③相手が答えと理由を答えたら、自分の答えと理由を言う。 ④その質問の回答欄に相手の名前と答えとキーワードを書く。 ⑤書き終わったらもう一人が同じように質問する。 ⑥2人とも終わったら、ハイタッチをして次のペアを探す。 <p>[条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> 1:15個のうち、8個以上は1年生のときに違うクラスの人に聞く。 2:15個のうち、5個以上は男子は女子に、女子は男子に聞く。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動をスムーズに進ませるために、ルールを黒板に掲示し、担任と副任がペアになって実際にやってみせながら説明する。 ○質問されたことに対して答えやすくするために、2択の質問にしておく。 ○楽しく活動するために、話の聞き方や笑顔でハイタッチをすることを確認する。 ○知っている人だけに質問するのではなくいろいろな人と話をする機会を作るために、条件を設定しておく。 ○次の活動でメッセージを作るときに活用するために、ゲームが始まる前に一人一人にキーワードを割り当てておく。 	10
(2)班でメッセージを完成させる。	○クラスメイトを大切にしている行動をとっている生徒を価値づけるために、活動の様子を見ておき、活動の後に賞賛する。	10
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集めたキーワードを班の中で出し合う。 ②集まったキーワードを並べ替えてメッセージを完成させる。 ③完成したメッセージを発表する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○メッセージができない班のために、随時ヒントを出していく。 ○班で完成させたメッセージを提示させるために、ホワイトボードに書かせる。 ○たくさんの人と関わりをもったことを賞賛するために、メッセージを完成させる活動の際に、全員の言葉がそろっている班を紹介する。 	10
4 担任の思いを聞き、今日の振り返りを行う。 (1)全体でメッセージを確認し、担任の思いを聞く。	○全員でメッセージを完成させたことに一体感を持たせるために、完成できたこと全員で拍手する。	10
各担任のメッセージが入る。	○全員がいることでこの活動が成り立つことを感じとらせるために、誰かの言葉が欠けてもメッセージは完成しないこと、全員がいたからこそ完成することを伝える。	
(2)今日の振り返りをする。	○担任の願いを伝えるために、完成したメッセージをもとに話をする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[予想される生徒の記述]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスの人と話せてよかった。新しいクラスで頑張りたい。 ・仲のいい人とクラスが離れて不安だったけど、このクラスでも話ができる友達ができそうで安心した。 ・一人ではメッセージを完成させることは出来なかった。班の人と協力できてよかった。 ・今日の活動みたいに、全員で一つのものを作りあげていきたい。そのためは、どんなことが大切か考えていきたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○前向きに頑張ろうという気持ち、クラスメイト一人一人のことを大切にする気持ち、仲間と協力して行こうという気持ちを価値づけるために、そのような記述のある生徒を意図的に指名し、何人かに振り返りを発表させる。 	

